

授業科目	教育実習指導 (2022 年度入学生)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免		ナンバリング	CH31501J		
開講年次	1	開講時期	4 期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2 DP5-3			
担当教員	阿南 寿美子、村上 里絵、末寄 雅美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育実習の意義・目的・内容を明確に理解させ、教育実習に必要な基礎的知識や能力を培う。</li> <li>2. 事前指導では、実習に対する意識や意欲を高め、実務家教員による指導も含め事前の準備が充分に行えるように導く。</li> <li>3. 事後指導では、実習体験の反省をもとに、理論と実践を統合する能力を高める。</li> <li>4. 体験した実習を通して、自らの課題を明確に認識させ、課題解決の努力を促す。</li> </ol>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2 年間の実習計画全体を知り、各期(教育実習 1&lt;1 年後期&gt;、教育実習 2&lt;2 年前期&gt;、教育実習 3&lt;2 年後期&gt;)の教育実習の意義・目的・内容について理解できる。</li> <li>2. 実習園でのオリエンテーションの受け方や実習の基本的心得について理解し、実践できる。</li> <li>3. 実習の際に必要な、観察と記録の方法、教材研究や指導案作成方法などを中心に、これまで各講義や演習で学んだ知識と技術を統合的に活用しながら実習に取り組む準備ができる。</li> <li>4. 実習後には、グループ別話し合いや個別面談および報告会を通して自己課題を明確にできる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	35	20	25	100	
知識・理解 (DP1-1)			2	3	2	2	9	
知識・理解 (DP1-2)			2	3	2	2	9	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			2	3	2	2	9	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			2	3	2	3	10	
関心・意欲 (DP3-2)			2	4	2	3	11	
態度(DP4-1)			2	4	2	3	11	
態度(DP4-2)			2	4	2	3	11	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			2	4	2	3	11	
技能・表現 (DP5-2)			2	4	2	2	10	
技能・表現 (DP5-3)			2	3	2	2	9	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
実習幼稚園の教育目標を考慮した上で子どもの発達の特性に合った保育計画を立てることができる。他者の学びを自らの学びに取り入れ、課題を明確にすることができる。また、自らの保育実践を振り返り導き出された課題を克服するために行動をすることができる。				実習に必要な基本的マナーを身につけ、行動することができる。各実習の目的に応じた実践のための準備をすることができる。実践を振り返って課題を明確にすることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション(阿南・末嵯) 2年間の実習計画の確認と各期の実習の意義・目的・内容の理解	シラバス、2年間の実習の流れを中心にオリエンテーションを行う。 遠隔授業	復習:資料をよみこむ	30
2	テーマ:見学実習の心得(末嵯・阿南) 見学実習の目的・内容と方法を理解する。	見学実習の手引きを中心に講義を行う。	配布した布を用いて名札を作る。	30
3	テーマ:「教育実習1、2、3」園の探し方(末嵯・阿南) 「教育実習1」を実施する実習協力園の概要を知る。各自の希望に応じた「教育実習1、2実施」園の選び方を知る。	配布資料を用いて、実習園の概要及び選び方を説明する。	各自「基礎実習希望園」「教育実習希望園」を選ぶ。	90
4	テーマ:保育教材の考え方(末嵯) 保育教材の在り方について考える。	保育教材について調べる。	保育教材を調べる。	30
5	テーマ:キリスト教保育の理解(末嵯) 見学実習に向け、附属シオン山幼稚園の概要を知る。幼稚園における礼拝のあり方について知る。	「幼児さんびか」を用いて、礼拝の実際を行う。	体験した「幼児さんびか」を歌えるようになる。	30
6	テーマ:見学実習記録の方法と書き方(末嵯・阿南) 見学実習において記録するための観察の仕方及び日誌への記録の方法について知る。	配布資料を基に記録するための見学の仕方及び日誌の記録方法について説明する。	復習:講義の内容を見直す	30
7	テーマ:見学実習(末嵯・阿南) 附属シオン山幼稚園を見学し、登園時の受け入れや礼拝を含めた幼稚園の実際を知る。	附属シオン山幼稚園で実際に子どもの行動のとらえ方などを指導する。	園の概要及び観察記録を作成し、提出する。	90
8	テーマ:見学実習の振り返り(阿南) 子どもを観察する視点や日誌の記入要領を確認する。	添削された日誌をもとに、子どもをとらえる視点、日誌の書き方などの解説を行う。	復習:講義の内容を見直す	30
9	テーマ:「教育実習1」直前指導(末嵯・阿南) 教育実習1の内容について理解する。	「教育実習1」の手引きをもとに実習の意義・目的・内容等の確認を行う。	手引きをしっかりと確認すること。	30
10	テーマ:「教育実習1」課題発表(末嵯・村上) 「教育実習1」で実践する手遊び歌を発表し、年齢に応じた発表の仕方を知る。	一人ずつ発表した手遊びに対する助言を行う。	年齢別に手遊びを考え、練習してくること。	90
11	テーマ:観察の方法・記録の書き方(末嵯・阿南) 各園ごとに提出書類を作成する。「教育実習1」での観察の方法、日誌の書き方について理解する。	事前に配布した観察要領、日誌記入要領をもとに解説する。	記入要領に目を通しておくこと。	30
12	テーマ:「教育実習1」事後指導(末嵯・阿南・村上) 「教育実習1」を振り返り、自己課題を明確にする。実習事後手続きについて確認する。	報告書の作成および日誌提出、お礼状等を含めた実習事後の手続きについての説明を行う。	復習:講義の内容を見直す	30
13	テーマ:「教育実習1」事後個別面談(末嵯・阿南) 「教育実習1」を振り返り、子どもや保育者との適切な関わり方について理解する。観察の仕方や記録の方法について理解する。評価をもとに自己課題を明確にする。	各自の作成した実習評価表、園からの評価表、日誌を用いて個別面談を行う。	実習自己評価を行っておくこと。	15
14	テーマ:指導案の作成(末嵯・阿南)	記入要領を配布し、指導案の作成	指導案の作成を行うこと。	90

	幼児の遊びを考え、部分保育として展開できるような指導案を作成する。	方法・添削等を行う。		
15	テーマ:教育実習報告会(末嵯・阿南) 2年生の報告を聞き、実習で必要とされることについて理解する。自らの実習と関連させながら、自己課題を明確にする。	2年生代表者による実習報告の後、地域別グループに分かれて話し合いを行う。	復習:実習報告会の内容をまとめる	30
16	テーマ:日誌作成の方法まとめ、「教育実習2」教材準備について(末嵯・阿南) 「教育実習2」にむけて日誌作成について知る。「教育実習2」で実践する教材の準備方法について知る。	日誌の作成方法の再確認を行う。また、「教育実習1」で実践する手作り教材について説明する。	復習:講義の内容を見直す	30
17	テーマ:「教育実習2」オリエンテーションの受け方について(末嵯・阿南) オリエンテーションの手続きの方法を知る。報告書を確認し、オリエンテーションを受ける園の様子を知る。	レジュメを用いてオリエンテーションの内容・方法についての説明を行う。	復習:講義の内容を見直す	30
18	テーマ:「教育実習2」教材発表(末嵯・村上) 「教育実習2」で実践する手作り教材を発表し、子どもの前での実践方法について検討する。	一人ずつ手作り教材を発表し、教材及び発表の仕方に対する助言を行う。	年齢に合わせた手作り教材を製作し、発表の準備をしておくこと。	120
19	テーマ:「教育実習2」直前指導(末嵯・阿南) 「教育実習2」の目的・内容について理解する。	「教育実習2」の手引きをもとに実習の意義・目的・内容等の確認を行う。	復習:講義の内容を見直す	30
20	テーマ:「教育実習2」事後指導(末嵯・阿南) 報告書の作成を通して「教育実習2」を振り返り、自己課題を明確にする。実習事後手続きについて確認する。	報告書の作成および日誌提出、お礼状等を含めた実習事後の手続きについての説明を行う。	復習:講義の内容を見直す	30
21	テーマ:「教育実習2」事後個別面談(末嵯・阿南・村上) 面接を通して「教育実習2」を振り返り、子どもや保育者との適切な関わり方について理解する。部分保育の実践についての省察を行い、各自の課題を明確にする。	各自の作成した実習評価表、園からの評価表、日誌を用いて個別面談を行う。	実習自己評価を行っておくこと。	15
22	テーマ:「教育実習2」報告会(末嵯・阿南) 代表者による発表を通じて自己の実践と比較し、様々な園の様子を知る。他者の学びを自分の学びと合わせて理解する。	代表者の報告を受けての質疑応答、内容のまとめを行う。	復習:講義の内容を見直す	30
23	テーマ:「教育実習3」直前指導(末嵯・阿南) 「教育実習3」の目的・内容を理解する。	「教育実習3」の手引きをもとに実習の意義・目的・内容等の確認を行う。	手引きをしっかりと確認すること。	30
24	テーマ:「教育実習3」教材発表(末嵯・村上) 「教育実習3」で実践する手作り教材を発表し、子どもの前での実践方法について検討する。	一人ずつ手作り教材を発表し、教材及び発表の仕方に対する助言を行う。	年齢に合わせた手作り教材を製作し、発表の準備をしておくこと。	120
25	テーマ:「教育実習3」事後指導(末嵯・阿南) 報告書の作成を通して「教育実習3」を振り返り、自己課題を明確にする。実習事後手続きについて確認する。	報告書の作成および日誌提出、お礼状等を含めた実習事後の手続きについての説明を行う。	復習:講義の内容を見直す	30

26	テーマ:「教育実習 3」事後個別面談(末寄・阿南) 面接を通して「教育実習 3」を振り返り、子どもや保育者との適切な関わり方について理解する。部分保育の実践についての省察を行い、各自の課題を明確にする。	各自の作成した実習評価表、園からの評価表、日誌を用いて個別面談を行う。	実習自己評価を行っておくこと。	15
27	テーマ:「教育実習 3」報告会(末寄・阿南) 他学生の報告を通して自己の実践と比較し、様々な園の様子を知る。他者の学びを自分の学びと合わせて理解する。また、自らの体験を 1 年生に伝えることにより、学びの整理を行う。	代表者の報告を受けての質疑応答、内容のまとめを行う。また、グループに分かれて 1 年生へ実習の内容を伝える。	復習:報告会での内容を整理する	30
28	テーマ:教育実習まとめ 2 年間の実習についての総括を行う	講義	実習資料ファイルを再度見直し、必要書類についてまとめておくこと	30
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	授業や各実習での学びを振り返り、課題意識を持ちながら授業に臨む。			
テキスト	文部科学省・厚生労働省・内閣府『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 幼児さんびか 『実習の日誌と指導案サポートブック』(ナツメ社)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	松隈玲子著『神様のおはなしきかせて』(日本キリスト教団出版局) 幼稚園教育要領解説(フレーベル館) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館) その他配布資料			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	1 年生前期の附属幼稚園での見学実習から 2 年生後期の教育実習 3 までの実習に関する内容を継続的に取り扱います。 授業で出された課題に意欲的に取り組み実習に備えてください。 常に自己課題を意識し、実習を通して達成することができるよう課題解決に向けての努力を常に行ってください。 決められた実習指導を受けていない場合には実習を延期もしくは中止いたしますので注意してください。			
達成度評価に関するコメント	各レポートや課題、提出物に関しては、その都度授業の中で提示します。 その他については実習指導における態度や授業への積極的な参加、面談による実習の振り返り等を総合して評価します。			